

アニマルウェルフェア (動物福祉)

つながるデザインワークショップ2025

アニマルウェルフェア
(動物福祉) の
定義

動物が生きて死ぬ状態に関連した、
動物の身体的及び心的状態をいう

国際獣疫事務局 (WOAH)

「動物愛護」や「動物の権利（アニマルライツ）」とは少し違う

アニマルウェルフェア（動物福祉）は...

人間が家畜などとして動物を活用すること
を認めた上で、その生命を尊重しよう
という考え方

- ▶ 動物が活着ている間は健康で幸せに生きられること
- ▶ 動物の健康に配慮した飼い方が必要
- ▶ 人間の感情は直接関係ない

アニマルウェルフェアで対象とされる動物

産業動物

畜産物供給用、農耕用
使役動物、レクリエー
ション動物（競馬等）

ペット、 コンパニオンアニマル

犬や猫など

実験動物

医薬品、化粧品、研
究開発

展示動物

動物園の野生動物

サービス動物

補助犬、警察犬、救
助犬など

野生動物

自然環境下での生育
動物

アニマルウェルフェア（動物福祉）の基本原則

「5つの自由」

飢えと渇き
からの自由

適切な栄養、十分な
食餌、きれいな水

動物本来の
自然な行動
をとる自由

適切な空間、習性に
応じた飼育

不快からの
自由

適切な飼育環境、清
潔で危険のない場所

恐怖や抑圧
からの自由

恐怖や精神的苦痛
(不安) を与えない

痛みや
怪我、病気
からの自由

健康管理、
病気の予防

1960年代から提唱され1979年にイギリスの農業動物福祉審議会（FAWC）がまとめた

欧米では広く浸透しているアニマルウェルフェアの考え方

イギリスやオランダ、ニュージーランド、オーストラリア、カナダなど

アニマルウェルフェアに関わる組織

法律による枠組

EU

- ・「農用目的で飼養される動物の保護に関する欧州協定（1976）」
 - ⇒動物が不必要な苦痛やけがを負うことを避け、飼養環境を快適に保つことを目的とし「農用目的で飼養される動物の保護に関する指令」が定められた。食肉処理・輸送・豚・肉用鶏・採卵鶏それぞれについて規制の基準が設けられている。採卵鶏を飼育するバタリーケージ（狭いケージ）は2012年に禁止、2013年からは母豚の妊娠ストール（拘束飼育）を禁止に。

イギリス

- ・「アニマルウェルフェア法（2006）」
 - ⇒野生動物を含めた全ての脊椎動物（人間を除く）を対象に、致傷行為などの各種禁止事項を定めている。EU規制により2012年にバタリーケージの使用を禁止。母豚の妊娠ストール禁止はEUに先駆け制度化している。
- ・「食肉処理場への監視カメラの設置義務に関する法律（2018）」
 - ⇒全ての食肉処理場での監視カメラの設置を義務付け。

【国際獣疫事務局（WOAH）】

⇒1924年に28カ国の署名を得てフランスのパリで発足した、世界の動物衛生の向上を目的とする政府間機関。日本は1930年に加盟。動物衛生や人獣共通感染症に関する国際基準の策定等を行う。※「国際獣疫事務局（OIE）」から名称変更

【英国王立動物虐待防止協会（RSPCA）】

⇒1824年発足の世界最古の動物福祉団体。家畜の福祉に関する基準を満たした商品であることを保証する認証制度「RSPCA認証」を確立。

【Compassion in World Farming（CIWF）】

⇒1967年創立の国際的な畜産福祉団体。

【世界動物保護協会（WAP）】

⇒1950年に動物保護世界連盟として設立。動物保護指標を作成し世界50カ国を調査。

日本ではなかなか進まないアニマルウェルフェア

動物保護指数（API）レポート

畜産動物福祉の評価（2020）

⇒日本は最低ランクの「G」

世界動物保護協会（WAP）が50カ国を対象に調査。

「動物の知覚が法律で認められているか」「動物に苦痛を与えることを禁止する法律があるか」「畜産動物の保護について」「展示動物や毛皮産業に使われる動物の保護について」「コンパニオンアニマルの保護について」「使役動物、娯楽利用の動物の保護について」「実験に使われる動物の保護について」「野生動物福祉の保護」「動物福祉における政府の責任」「OIE動物福祉基準の遵守状況」など多岐に渡り評価。

A	－
B	オーストリア スウェーデン
C	ニュージーランド スイス ポーランド デンマーク オランダ
D	韓国 タンザニア スペイン フランス イギリス ドイツ イタリア カナダ ブラジル メキシコ
E	インド フィリピン オーストラリア 南アフリカ ウクライナ トルコ アメリカ コロンビア
F	タイ インドネシア ケニヤ ルーマニア マレーシア アルゼンチン チリ ウルグアイ
G	日本 中国 ロシア エジプト ニジェール エチオピア ナイジェリア アルジェリア モロッコ ペラルーシ イラン パキスタン ミャンマー ベトナム ベネズエラ ペルー アゼルバイジャン

出典：アニマルライツセンター公式サイト

日本のアニマルウェルフェア

「動物の愛護及び管理に関する法律」

（動物愛護管理法）1973制定

動物を命あるものとして適正に取り扱い、人に危害や迷惑を及ぼさないように管理することを目的とする。対象は家庭動物、展示動物、畜産動物、実験動物。動物取扱事業者への義務や規制についても定めている。

しかし...

畜産動物や実験動物も対象であるはずの動物愛護法ですが、その検討から畜産動物や実験動物が後回しにされています。化粧品の動物実験の法的禁止も40カ国に増える中、日本ではようやく超党派議員連盟での検討が始まったところです。農林水産省がアニマルウェルフェアに関する飼養管理指針を作るも、強制力がなく、日本の法整備は最低ランクに位置づけられています。（アニマルライツセンター公式サイト）

日本のアニマルウェルフェアが遅れている理由

- 畜産業の歴史が浅い
- 畜産物の輸出量が少ないので世界基準に合わせる必要性がない
- 法的な規制が十分ではない
- 消費者の関心が低い

【日本】アニマルウェルフェアに関わる組織や取り組み

【農林水産省】

⇒アニマルウェルフェアの考え方を踏まえた家畜の飼養管理の普及に努める。

●畜種ごとの飼養管理等に関する技術的な指針（乳用牛・肉用牛・豚・採卵鶏・ブロイラー・馬・輸送など）

●アニマルウェルフェアに関する新たな指針（案）についてのパブリックコメント

●アニマルウェルフェアに関する意見交換会

●アニマルウェルフェアに配慮した家畜の飼養管理等について現場の実践例を紹介

【公益社団法人 畜産技術協会】

⇒畜産技術情報の収集及び提供、畜産に関する技術の向上発達のための取り組みを行う。「アニマルウェルフェアの考え方に対応した家畜の飼養管理指針」を作成。

【公益社団法人 日本動物福祉協会】

⇒1956年に任意団体として日本動物愛護協会から独立。動物を虐待から守り、あらゆる「いのち」にやさしい社会を築くため創立された協会。

【認定NPO法人アニマルライツセンター】

⇒1987設立。動物たちの生存権を擁護し、工場畜産や動物搾取がもたらす動物たちの苦痛や苦悩、弱者への暴力や差別、環境問題をなくすために力を尽くす。

【公益社団法人 アニマル・ドネーション】

⇒2011年より動物専門の寄付サイトを運営する中間支援組織。「日本の動物福祉を世界トップクラスに」を掲げ、「人と動物が共に幸せに暮らせる社会作り」を目的に活動。

【一般社団法人 アニマルウェルフェア畜産協会】

⇒家畜の暮らしを改善することを目標に活動。2016年に国内初のアニマルウェルフェア認証制度を開始。2016年設立。

日本の認証制度

- ・ 特色JAS認証「地鶏肉」「持続可能性に配慮した鶏卵・鶏肉」（エコデザイン認証センター）
- ・ 平飼い鶏卵認証（エコデザイン認証センター）
- ・ アニマルウェルフェア畜産認証（一般社団法人アニマルウェルフェア畜産協会）
- ・ やまなしアニマルウェルフェア認証（山梨県）

【東京】アニマルウェルフェアに関わる組織や取り組み

【第2次都立動物園マスタープラン】

⇒都立動物園を取り巻く様々な状況の変化を的確に捉え、動物園・水族館の持つレクリエーション、環境学習、種の保存、調査・研究の機能を強化していく。**野生動物の多様性、地球環境を守り、次世代に確実に引き継いでいくため「アニマルウェルフェア(動物福祉)に配慮した飼育展示や施設整備を推進する」としている。**

【東京都動物愛護相談センター】

⇒東京都保健医療局。民間の非営利団体と連携し譲渡事業を行う。犬や猫の譲渡情報や、最期まで愛情と責任をもって飼うための情報サイト「ワンニャンとうきょう」運営。

【一般社団法人アニマルウェルフェア東京（八王子）】

⇒アニマルウェルフェアに沿った考えのもと、保護犬・ブリーダー引退犬など様々な環境にいる犬の里親を募集し、一頭でも多くの子に家族を見つけるための取り組みを行なう。

【磯沼ミルクファーム（八王子）】

⇒牛舎に放牧された搾乳牛は、干し草やエコフィードを自由に食べ、好きなところで休むことができる。乳牛の命の尊厳と自主性を尊重した牧場、アニマルウェルフェアな酪農を実現している。

【東京農工大学×東京都】

⇒2025年5月、人と動物との共生社会の実現のため、協働事業実施に係る協定を締結。動物の譲渡推進、動物の適正飼養の啓発についての事業を行う。

【認定NPO法人人と動物の共生センター】

⇒（１）適正飼育普及啓発（２）高齢者とペットの共生（３）ペット産業のCSR推進（４）ペット防災の推進（５）野外で野外等で過剰繁殖する犬猫対策（６）人と動物の共生大学。2024年に東京支部設立（本部：岐阜）。

アニマルウェルフェアを学ぶ （東京にキャンパスがある大学）

- ・ヤマザキ動物看護大学 動物看護学部
- ・麻布大学 獣医学部
- ・日本獣医生命科学大学
- ・帝京科学大学 生命環境学部

【企業】アニマルウェルフェアに関わる取り組み

【BBFAW（畜産動物福祉に関するビジネスベンチマーク）】

英国の2つのNPOが立ち上げたBBFAWは、畜産動物のアニマル・ウェルフェアに関する4分野37項目で食品関連企業150社を評価している。2024の報告書には、中国から12社、日本から5社（イオングループ、マルハニチロ、明治ホールディングス、日本ハム、セブン&アイ・ホールディングス）、オーストラリアから2社、ニュージーランドとタイからはそれぞれ1社が含まれている。

【アニマルウェルフェアを重要課題（マテリアリティ）に入れている企業】

日本ハム／プリマハム／スターゼン／エスフーズ株式会社／伊藤ハム米久HD（持続可能な調達の中に含まれる）／明治ホールディングス（持続可能な調達に含まれる）／マルハニチロ（持続可能な調達に含まれる）／ニッスイ（持続可能な調達に含まれる）／キューピー（持続可能な調達に含まれる）／三井物産（安定供給の基盤をつくるに含まれる）／ジャパンファーム／JA全農

（出典：アニマルライツセンター公式サイト）

【企業】 アニマルウェルフェアアワード（AWA） 2025

日本の畜産動物を守る活動を行うアニマルライツセンターの視点で、できるだけ大きなインパクトを与えたと考えられる取り組みを評価（2024年4月～2025年3月）。

●キューピー株式会社

欧米では使用するすべての卵を、グローバルでは2027年までにマヨネーズに使用する卵を20%をケージフリーにすること、日本では2030年までにマヨネーズに使用する卵の20%にあたる量をケージフリーで調達することを明らかにした。

●株式会社シャトレーゼ

自社で放牧養鶏を始め、2024年にその卵を使ったプリンの販売を『YATSUDOKI』のブランドで開始。

●株式会社七星食品

国際的なアニマルウェルフェアをいち早く取り入れ、豚舎の妊娠ストールフリーに取り組んできた。2025年、残りの母豚の妊娠ストール豚舎もストールフリーに建て替えることを決めた。その価値と経験を、他の養豚業者にも伝えている。

令和6年（2024年）全国犬猫飼育実態調査

犬飼育頭数の減少傾向と、猫飼育頭数の横ばいの傾向を背景に、一般社団法人ペットフード協会が行った全国調査。

[調査課題]犬・猫の飼育実態について

現在の飼育率、飼育頭数推計／平均寿命／現在飼育している犬・猫の情報（種類、年齢、体重、飼育場所）／飼育実態（飼育きっかけ、入手先、散歩、通院、予防接種、不妊・去勢の有無）／ペットフード購入実態／給餌実態／今後の飼育意向と、飼育阻害要因／1年以内飼育者の飼育の動機／生体入手価格／飼育の効用（本人・家族）／飼育支援サービス／商品に関する浸透度／防災意識 他マイクロチップ浸透度／シェルター関連など

犬

約679万6千頭。
飼育率は減少傾向だが、飼育頭数は下げ止まり。

猫

約915万5千頭。
飼育頭数・飼育率が横ばいで推移。

24年調査のトピックス

1	犬の飼育頭数下げ幅は縮小、猫の飼育頭数は横ばい - 犬の飼育頭数は約4.8万頭の減少。新規飼育頭数は横ばい傾向。 - 猫の飼育頭数は横ばい。新規飼育頭数の減少幅は縮小。
2	飼育支援商品・サービスの浸透に課題 - 犬飼育者、猫飼育者ともに飼育支援商品・サービスの利用率が全体的に低い。 - ペットホテル・セカンドハウス、ペットのしつけ・トレーニング、ペット用見守りカメラ、ペット用自動給餌器は飼育意向者の飼育意向が高まる商品・サービス。また、無料預りサービスは認知は低いが飼育意向が高まると回答する人の割合は高い。
3	飼育効用として、感情面での効用は特に感じられやすい - 感情面での飼育効用のほうが、物理的な飼育効用よりも感じられている。 - 飼育意向者においても、具体的な健康効用よりも感情面での効用のほうが飼育意向が高まる様子。
4	犬猫飼育者の防災対策は不十分 - 普段の飼育の延長でできる対策は3割以上が実施している傾向。 - 一方で、しつけや情報収集に関する対策を実施している人は少ない。 - 同行避難と同伴避難の違いを理解する人は約6割。 - 一方で、最寄りの避難所を知っているのは2割に満たない。
5	年々、経済的理由でペット飼育のハードルが高くなっている 犬猫ともに、飼育の阻害要因として、「お金がかかる」「（ペットの）価格が高い」のスコアが上昇傾向。

ペット関連総市場規模推移と予測

株式会社矢野経済研究所による、
国内のペットビジネス市場調査。

- 健康意識の高まりからプレミアム指向が続き市場は伸長、物価高騰による値上げが追い風。
- ペットの健康やペットとの暮らしの充実を考えるペットオーナー（飼育者）の増加により、細分化、多様化するニーズに対応する商品展開が拡大。

（参考：株式会社矢野経済研究所公式サイト）



出典：株式会社矢野経済研究所公式サイト

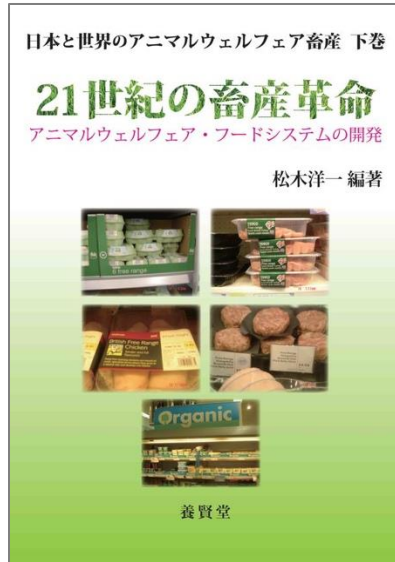
アニマルウェルフェア関連書籍

動物の命について考える、アニマルウェル
フェアを知る手掛かりになる書籍



動物福祉
アニマルウェルフェア
世界の歩みと日本の取組み

著：植木美希＋田中亜紀＋町屋 奈
工作舎（2024）



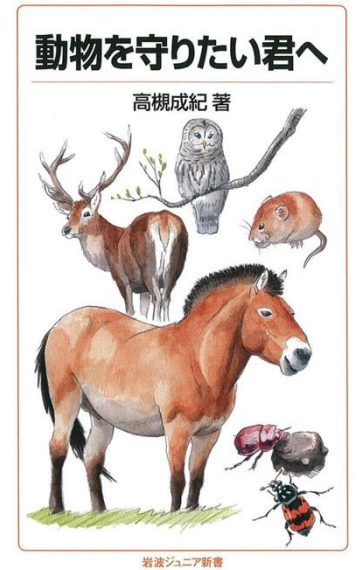
21世紀の畜産革命
アニマルウェルフェア・フード
システムの開発

編著：松本 洋一
養賢堂（2018）



アニマルウェルフェア
とは何か
倫理的消費と食の安全

著：枝廣 淳子
岩波書店（2018）



動物を守りたい君へ

著：高槻 成紀
岩波書店（2013）